

(注)当入力例は、処理の一例です。実際に入力する際は、各企業の処理方法に基づいて入力してください。

1. 通算税効果額の期首の金額(会計上) ※税務上の金額と一致している前提です。

赤字

本来は前期で「未収入金(通算税効果額)」を「1,300,000円」(※1)とすべきところ、手違いにより「未払金(通算税効果額)」を「-300,000円」、「未収入金(通算税効果額)」を「1,000,000円」と処理したため、これらの金額が当期に繰り越されてきている状況とします。

■メニュー301の[5(1):前期繰越利益積立金額の確認(入力)]WS

5(1): 前期繰越利益積立金額の確認(入力)					
別表5(1)					
1. 期首現在利益積立金額を入力してください。(別表五(一))					
行	別表五(一)の区分	期首利益積立金額	調整 区分	当期の認容処理	
				加算(当期の増)	減算(当期の減)
70	未払金(通算税効果額)	-300,000		(自動転記)	(メニュー401で入力)
71	未収入金(通算税効果額)	△ 1,000,000		(自動転記)	(メニュー401で入力)

※1 本来は[未収入金(通算税効果額)]欄が「△ 1,300,000」で、[未払金(通算税効果額)]欄は「0」となります。

■メニュー401の[当期利益・納税充当金・通算税効果額等の入力(必須)]WSの[会計上の通算税効果額の取崩額等]タブ

当期利益・納税充当金・通算税効果額等の入力(必須)					
別表4・5(1)					
当期利益・納税充当金・通算税効果額等 通算税効果額の決済額等 会計上の通算税効果額の取崩額等 連結法人税個別調整額の決済額等 会計上の連結法人税個別調整額の取崩額等					
【別表5(1): 通算税効果額等の未払金・未収入金】					
別表5(1)の区分	期首現在利益積立金額	当期の申告調整		差引(翌期首現在利益積立金額)	
		増	減		
通算税効果額		内 別表4付表 (A)	内 別表5(2) (G)		
未払金(通算税効果額)	-300,000	通称合併等	上記以外		-300,000
		計	計		
未収入金(通算税効果額)	△ 1,000,000	内 別表4付表 (D) △	内 別表5(2) (H) △		
		通称合併等	上記以外		
		計	計		
		△	△		△

▲「未払金(通算税効果額)」の「減」の「別表5(2)」欄には、「当期中の決済額」の「支払額」の「計」から「附帯税分」を控除した金額を表示しています。

※1 本来は[未収入金(通算税効果額)]欄が「△ 1,300,000」で、[未払金(通算税効果額)]欄は「0」となります。

2. 通算税効果額の決済額の入力(税務上) ※会計上の金額と一致している前提です。

青枠

親法人(※2)との精算時に「現預金1,300,000/未収入金1,300,000」の仕訳を計上しているとします。

[当期中の決済額] - [受取額]欄に「1,300,000」を入力します。

※2 通算税効果額の受払いは、通算親法人と各通算子法人が行っているものとします。

税務上の期首現在未決済額(未払金)の受取分は、会計上の[未収入金(通算税効果額)] - [減]欄で調整されるため、会計上の「未払金(通算税効果額)」と「未収入金(通算税効果額)」に金額が減ります。(※3)

※3 これらの残額の合計は0円です。

■メニュー401の[当期利益・納税充当金・通算税効果額等の入力(必須)]WSの[通算税効果額の決済額等]タブ

当期利益・納税充当金・通算税効果額等の入力(必須)					
別表4・5(1)					
当期利益・納税充当金・通算税効果額等 通算税効果額の決済額等 会計上の通算税効果額の取崩額等 連結法人税個別調整額の決済額等 会計上の連結法人税個別調整額の取崩額等					
【別表5(2): 通算税効果額等の発生額・決済額】					
事業年度	期首現在未決済額	当期発生額	当期中の決済額		期末現在未決済額
			支払額	受取額	
42					
43	-1,300,000			※決済額 1,300,000	0

■メニュー401の[当期利益・納税充当金・通算税効果額等の入力(必須)]WSの[会計上の通算税効果額の取崩額等]タブ

当期利益・納税充当金・通算税効果額等の入力(必須)					
別表4・5(1)					
当期利益・納税充当金・通算税効果額等 通算税効果額の決済額等 会計上の通算税効果額の取崩額等 連結法人税個別調整額の決済額等 会計上の連結法人税個別調整額の取崩額等					
【別表5(1): 通算税効果額等の未払金・未収入金】					
別表5(1)の区分	期首現在利益積立金額	当期の申告調整		差引(翌期首現在利益積立金額)	
		増	減		
通算税効果額		内 別表4付表 (A)	内 別表5(2) (G)		
未払金(通算税効果額)	-300,000	通称合併等	上記以外		-300,000
		計	計		
未収入金(通算税効果額)	△ 1,000,000	内 別表4付表 (D) △	内 別表5(2) (H) △	1,300,000	
		通称合併等	上記以外	△	
		計	計	△ 1,300,000	
		△	△		△

【両建てした通算税効果額(会計上)の期末残を0にする方法】

■別表5(1) ※ご参考

区 分	期 首 現 在 利 益 積 立 金 額	当 期 の 増 減		差 引 翌 期 首 現 在 利 益 積 立 金 額 ① - ② + ③
		減	増	
	①	②	③	④
利 益 準 備 金	1			
積 立 金	2			
未 払 金 (通 算 税 効 果 額)	3	△ 300,000		△ 300,000
未 収 入 金 (通 算 税 効 果 額)	4	△ 1,000,000	△ 1,300,000	300,000

3. 両建てした「未払金(通算税効果額)」と「未収入金(通算税効果額)」の期末残を0にする調整(会計上)

紫枠

期末残と同額を、[減]－[上記以外]欄に入力(※4)します。

同欄の「未払金(通算税効果額)」(-300,000)と「未収入金(通算税効果額)」(△ -300,000)の合計額は0円のため、当調整を行っても、所得金額に影響はなく、また、検算式の差額になりません。(※5)

※4 ①「未払金(通算税効果額)」の[差引翌期首現在利益積立金額]欄の「-300,000」を、[減]－[上記以外]欄に入力します。

②「未収入金(通算税効果額)」の[差引翌期首現在利益積立金額]欄の「-300,000」を、[減]－[上記以外]欄に入力します。(△は固定表示です。)

※5 [減]欄は別表5の調整のみとなるため、所得金額には影響がありません。

また、今回の調整では、未払金(通算税効果額)」(-300,000)と「未収入金(通算税効果額)」(△ -300,000)の合計額が0円のため、検算式の差額にもなりません。

■メニュー401の[当期利益・納税充当金・通算税効果額等の入力(必須)]WSの[会計上の通算税効果額の取崩額等]タブ

当期利益・納税充当金・通算税効果額等の入力(必須)										-		□		×			
ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)																	
										別表4-5(1)							
当期利益・納税充当金・通算税効果額等 通算税効果額の決済額等 会計上の通算税効果額の取崩額等 連結法人税(個別)調整額の決済額等 会計上の連結法人税(個別)調整額の取崩額等																	
【別表5(1)：通算税効果額等の未払金・未収入金】																	
別表5(1)の区分		期首現在利益積立金額		当期の申告調整								差引翌期首現在利益積立金額					
				増				減									
通算税効果額分	未払金 (通算税効果額)	-300,000	内訳	別表4付表 (A)	内訳	別表5(2) (G)					0						
			通格合併等		上記以外	-300,000											
			計		計	-300,000											
通算税効果額分	未収入金 (通算税効果額)	△ 1,000,000	内訳	別表4付表 (D) △	内訳	別表5(2) (H) △	1,300,000			△	0						
			通格合併等		上記以外	△	-300,000										
			計	△	計	△	1,000,000										

※ 期末残を[上記以外]欄で調整することで、期末残を0としています。

[減]欄は内訳を変更しましたが、金額の合計は「△1,300,000」で変わりません。

■別表5(1) ※ (ご参考)

区 分	期 首 現 在 利 益 積 立 金 額	当 期 の 増 減		差 引 翌 期 首 現 在 利 益 積 立 金 額 ① - ② + ③
		減	増	
	①	②	③	④
利 益 準 備 金	1			
積 立 金	2			
未 払 金 (通 算 税 効 果 額)	3	△ 300,000	△ 300,000	0
未 収 入 金 (通 算 税 効 果 額)	4	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0

以上